

旭光電機 株式会社

独創のセンシング技術とコントロール技術で、安全と快適な社会の実現に貢献します



企業の特徴・強み

東海道山陽新幹線の自動ドア用センサ(シェア100%)を始め、建物の自動ドア用センサ、船舶のブリッジ用操作スタンド、ビールサーバ周辺機器など、高品質・高信頼性が要求される製品を研究開発から製造まで行っています。また、これらで長年培ってきた技術力・生産力・品質力を核として、ソフト、Webサービスを含めたDX、GX自社商品販売や、ODM、OEMでお客様の様々な課題、困りごとに対し、解決策を提案しています。



オンリーワン企業認定後の取組



自動ドア用センサ・コントローラに新たに画像認識機能を追加し動線判断エリアを拡大しました。ドア前を横切る時などは開かず、ドアを通る時は、ドアに到達するまでの時間を予測してドアを開くことにより、ストレスフリーの通行性を実現させました。

またDX自社商品の開発にも取り組んでいます。既存設備に後付け・簡単設定をコンセプトとし、様々な入出力情報を携帯回線でアップ可能な「SmartFitPRO」、ローカルの無線を、携帯回線やWi-Fi経由でアップする「Pico3」、水回りの漏水を検知し、携帯回線やWi-Fi経由で漏水情報をアップする「漏水みはり番」など、様々なフィールドで活用いただけます。

当社は「漏水みはり番」の資産を活用し、国土交通省が進める「ワンコイン浸水センサ実証実験」プロジェクトにも参画しています。



最新トピックス・アピールポイント

当社は2023年度売上げが過去最高の55億円となりました。今後、AIエッジデバイスやDX、GX関連商品をより充実させ、2028年度には売上100億円を目指します。確実な成長と共に、脱炭素など環境への配慮や社会貢献を目指します。これからもお客さまが真に望まれるセンサーとコントローラの開発・供給に、努力を続けてまいります。



COMPANY PROFILE

業界に先駆けて自動ドア用コントローラを開発し、建物や鉄道車両用の自動ドア用センサ・コントローラ、船舶用制御装置、宇宙分野、食品機器分野で開発、設計、製造を行い、長年培った技術を基にIoT機器を開発し、ODM、OEMの軸から自社商品も展開しています。

DATA

所在地	神戸市兵庫区荒田町1-2-4
従業員数	216名
資本金	8,500万円
設立	1952年11月
代表者	代表取締役社長 和田 貴志